

アルボン

P-800

上水
JWWA-K-143



100%無溶剤タイプ

アク抜きのための水を必要としないエポキシ樹脂

環境対応型

(ビスフェノールA型)

作業される方の健康に害のないエポキシ樹脂

刺激臭のないエポキシ樹脂 (F☆☆☆☆)
(作業される方への健康に害のない) 最上級・全て不検出
湿潤面対応エポキシ樹脂
(水を抜いた直後の下地)

環境ホルモン材フェノール類不検出
(ビスフェノールA型)

無溶剤(100%)タイプのエポキシ樹脂
(アク抜きのための水を必要としない)

72時間~96時間後に飲料水の注入が可能

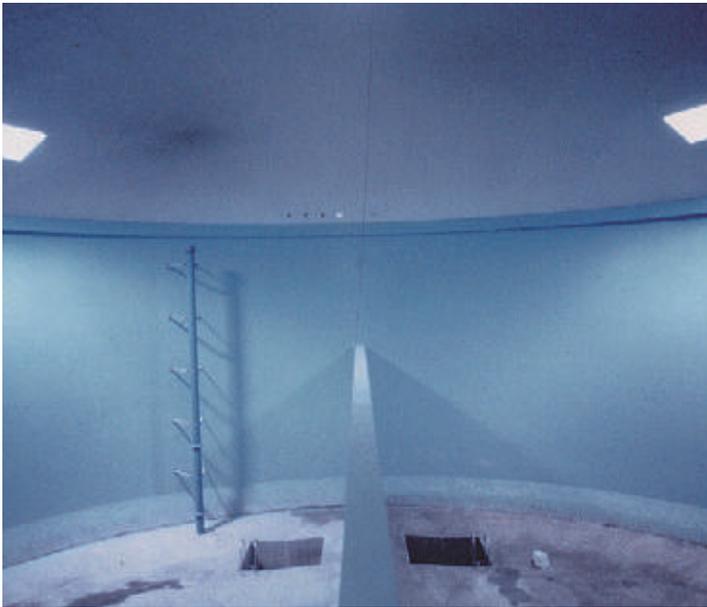
アルボンP-800E工法は、JWWA-K-143規格に対応すべく開発された、
厚さ0.5mm以上を確保する工法です。



リシンガン使用塗布



リシンガン使用塗布後コテ類使用均し作業



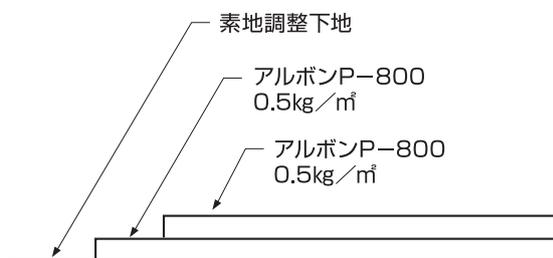
壁面塗布終了



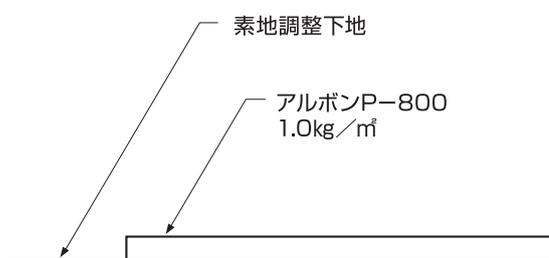
床面塗布



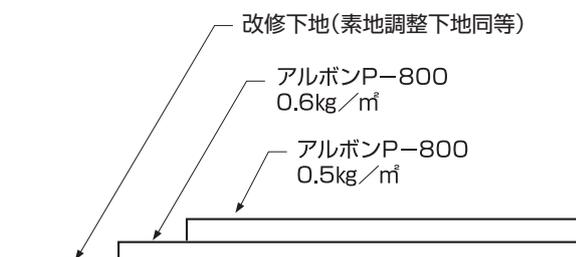
ES-15P (新設壁・天井)



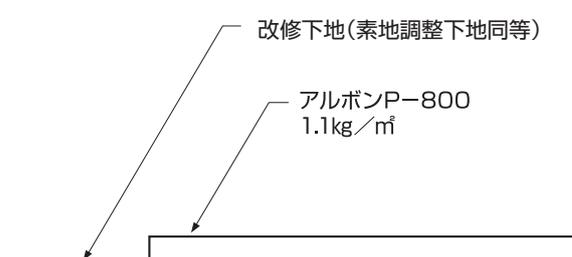
ES-15P (新設床)



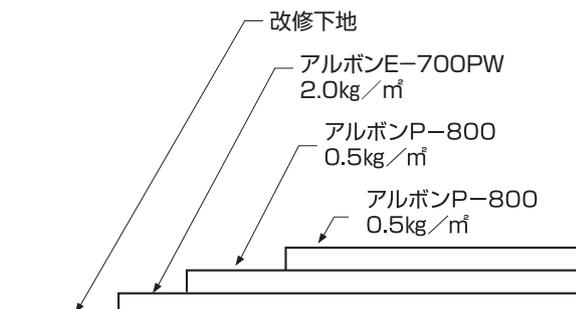
ES-15 (改修壁・天井)



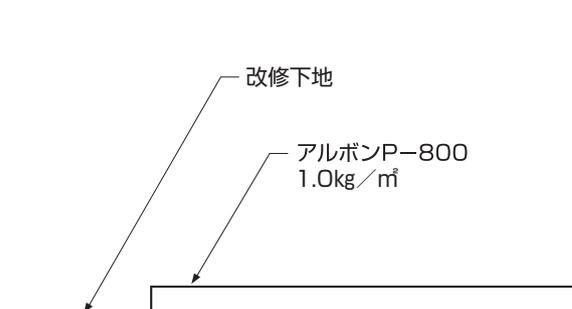
ES-15 (改修床)



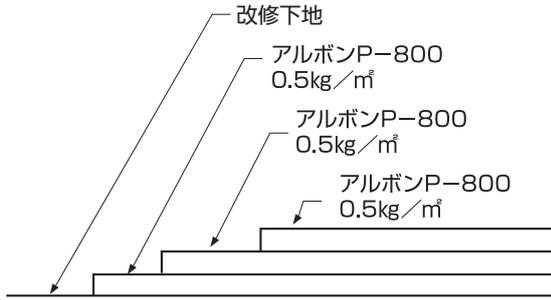
ES-15C (改修壁・天井)



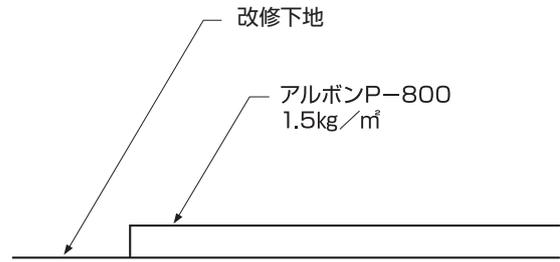
ES-15C (改修床)



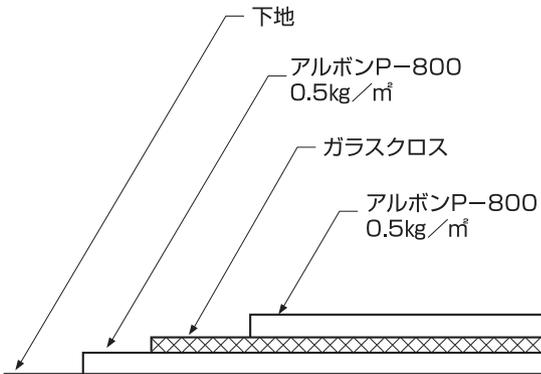
ES-20 (改修壁・天井)



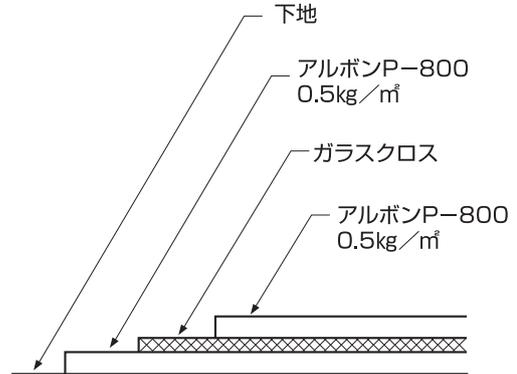
ES-20 (改修床)



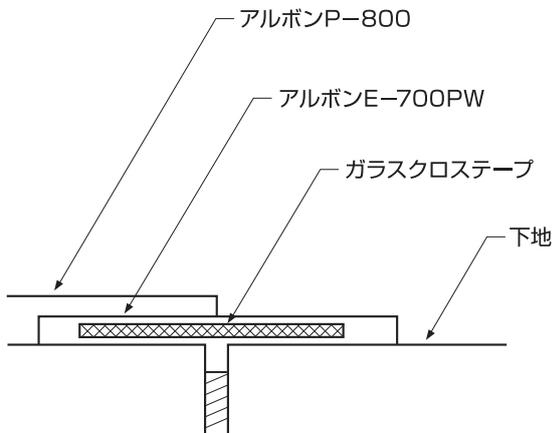
EW-G (壁・天井)



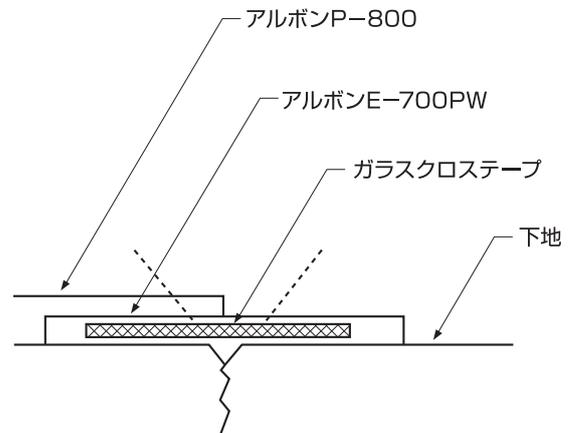
EW-G (床)



目地部



クラック部



プライマーを必要とするとき

乾燥したコンクリートは息をしていますピンホールの発生の原因になります

改修下地でも新たに造作したコンクリート、モルタル下地は乾燥しています

以上のような時はプライマー処理としてアルプラE P-15 0.15kg/m²を塗布

※アルボンP-800の希釈を目的としての溶剤(トルオール、エポキシシンナー)類の使用は禁止します。

アルボンP-800コンクリート補強工法

アルボンP-800コンクリート補強工法は、カーボン繊維及びアラミド繊維の持つそれぞれの特長を生かし、アルボンP-800で積層する工法です。

「カーボン繊維」

カーボン繊維は圧縮強度に優れた物性を発揮します、コンクリート構造物を外部からの衝撃から保護する目的に利用されます。この特長を生かした主な使用例としては、釣り竿または、自動車レースのF-1のモノコックボディなどが良い例です。

「アラミド繊維」

アラミド繊維はカーボン繊維とはまた別に、引張強度に優れ、コンクリート構造物の内部から発生する亀裂などからコンクリート構造物を守る目的に使用されます。この特長を生かした主な使用例としては、防弾チョッキなどが良い例です。

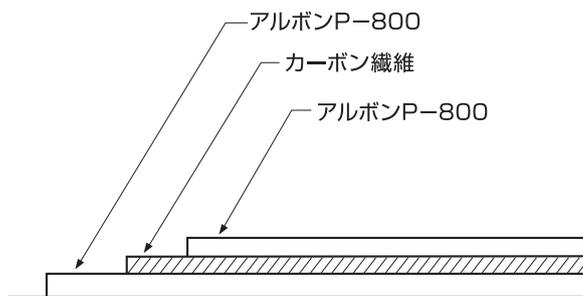
以上、カーボン繊維及びアラミド繊維のそれぞれの長所を、各構造物の目的に沿って活用することが望まれます。

用途

- 橋梁、橋脚、建築物の梁、柱、床などの補強
- 煙突、サイロ、高架水槽などの補強
- 港湾施設、栈橋、河川構造物の保護補強
(アルボンP-800は、湿潤面对応なので理想的です。)

アルボンP-800カーボン繊維工法

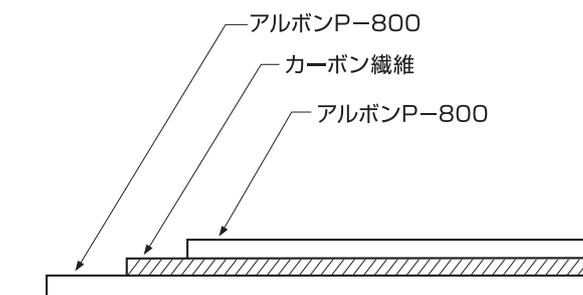
EC-15



①アルボンP-800	0.6kg/m ²
②カーボン繊維	
③アルボンP-800	0.5kg/m ²

EC-15T

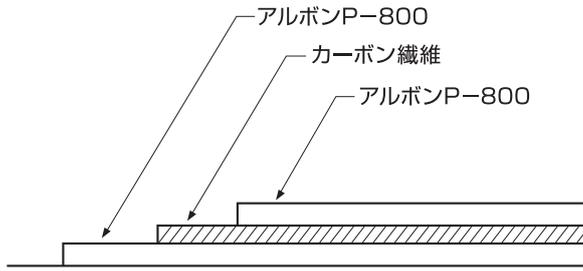
(トップコート工法)



①アルボンP-800	0.6kg/m ²
②カーボン繊維	
③アルボンP-800	0.5kg/m ²

EC-15M

(保護モルタル工法)

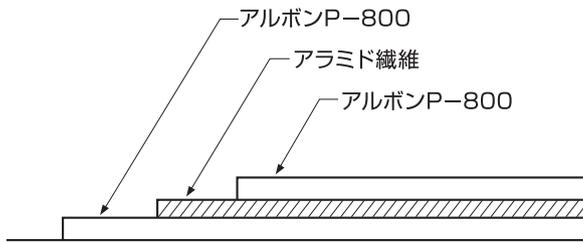


①アルボンP-800	0.6kg/m ²
②カーボン繊維	
③アルボンP-800	0.5kg/m ²

※この仕様の下地は、モルタル金ゴテ仕上げ（または、同等）を条件とします
2プライはEC-20、3プライはEC-30となります。

アルボンP-800アラミド繊維工法

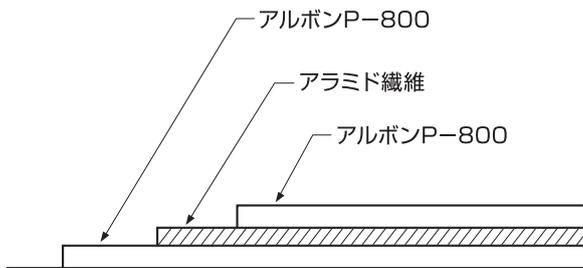
ED-15



①アルボンP-800	0.6kg/m ²
②アラミド繊維	
③アルボンP-800	0.5kg/m ²

ED-15T

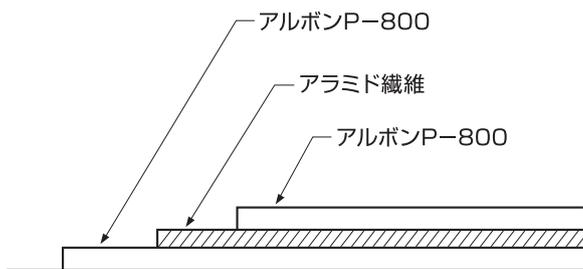
(トップコート工法)



①アルボンP-800	0.6kg/m ²
②アラミド繊維	
③アルボンP-800	0.5kg/m ²

ED-15M

(保護モルタル工法)

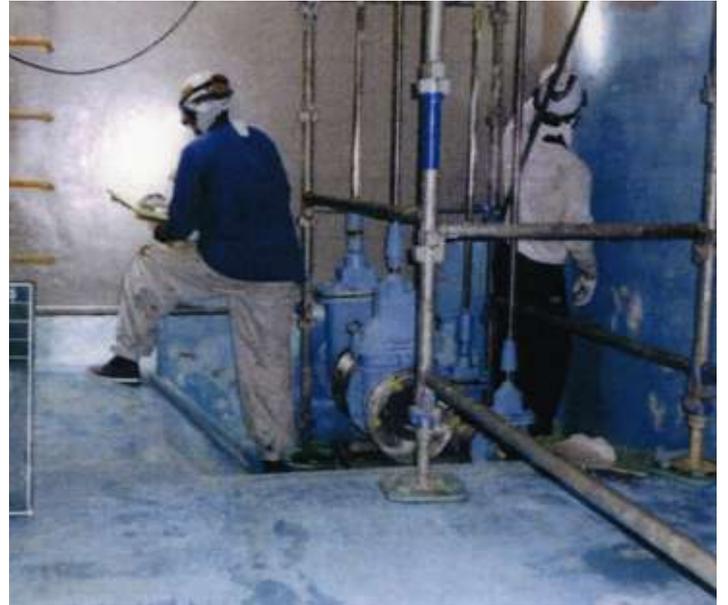


①アルボンP-800	0.6kg/m ²
②アラミド繊維	
③アルボンP-800	0.5kg/m ²

※この仕様の下地は、モルタル金ゴテ仕上げ（または、同等）を条件とします
2プライはED-20、3プライはED-30となります。



改修下地



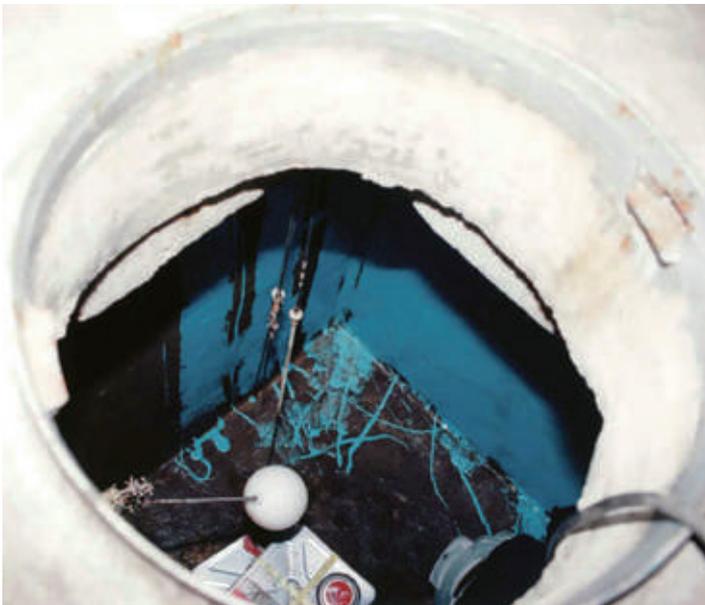
アルボンE-700PW塗布 ES-15C



水を抜いた直後の水槽（不陸調整E-700PW・S）



ES-20



水を抜いた直後のマンホール



ES-15

アルボンP-800 (JWWAK143)

■一般性状

品名		P-800	
項目	主剤	硬化剤	試験規格
外観	各色ペースト	淡黄白色ペースト	目視
主成分	変性エポキシ	変性脂肪族ポリアミン	—
混合粘度	10,000mPa-s		JIS K6833準拠
比重	1.40	1.70	JIS K6833準拠
混合比重	1.55		JIS K6833準拠
配合比(重量比)	1	1	—
可使用時間 25℃	30~40分		JIS K6833準拠
硬化時間 25℃	24時間以上		JIS K6833準拠

■物性

項目	代表値	単位	試験規格
硬度 JIS D	87	—	JIS K7215準拠
引張剪断接着強度	12.0	N/mm ²	JIS K6850準拠
圧縮強度	120	N/mm ²	JIS K6911準拠
引張強度	47	N/mm ²	JIS K7113準拠
曲げ強度	73	N/mm ²	JIS K6911準拠
付着強度 モルタル(標準)	3.18	N/mm ²	JIS K6909準拠
付着強度 モルタル(湿潤)	2.85	N/mm ²	JIS K6909準拠

25℃×7日

■耐薬品

薬品名	評価	薬品名	評価
10% 塩酸	○	100% エタノール	×
10% 硫酸	○	アセトン・MEK	×
10% 硝酸	○	トルエン・キシレン	×
5% 酢酸	△	ガソリン・ナフサ	◎
10% 酢酸	△	灯油・マシン油	◎
10% 乳酸	×	食用油	◎
5% 磷酸	△	飽和食塩水	◎
10% 磷酸	×	10%アンモニア水	○
5% 蟻酸	×	10%苛性ソーダ	○

(60日常温浸漬)

アルボンP-800の接着

1. 湿潤しているコンクリート、モルタル (100%湿潤していることが理想的な下地)
2. 磁器タイル
3. 金属(鉄部)、亜鉛、ステンレス(SUS304)

◎非常に良い
○良好
△やや侵される
×侵される

■耐熱水生浸漬試験

項目	状態
硬度変化	87
重量変化	0
膨潤率	0

浸漬条件90℃/4時間×14日間

評価は適正の傾向を表したものであって、耐性を保証するものではありません。実際の適用については打合せの上決定してください。

アルボンE-700PW 湿潤面对应

湿潤面接着と適度な弾性を特徴とするエポキシ樹脂、弾性効果を活かして湿潤状態のコンクリートシールドセグメント、ボックスカルバードの継ぎ目のシール材、コンクリート構造物の耐震補強材

■一般性状

外 観	主 剤	灰 色 ペ ー ス ト
	硬 化 剤	淡 黄 白 色 ペ ー ス ト
	混 合 物	灰 白 色 ペ ー ス ト
比 重 (25℃)	混 合 物	1.59
粘 度 (25℃)	主 剤	300,000mpa・S
	硬 化 剤	350,000mpa・S
配合比 (重量比)	主/硬	1/1
可 使 時 間	500g, 25℃	50~60分

■物性

J I S 硬 度 D	44	JIS-K 6833
引 張 強 度	3.1	N/mm ²
伸 び 率	80	%
付着強度モルタル(湿潤)	5.55	N/mm ²

25℃×7日

アルボンE-700PW・S

適度な粘度を有し不陸調整等の作業に適しています

湿潤面に対する接着は完全です

目地・クラック等の穴埋めに適した適度な粘度のパテ材として適しています

■一般性状

外 観	主 剤	灰 色 ペ ー ス ト
	硬 化 剤	淡 黄 白 色 ペ ー ス ト
	混 合 物	灰 白 色 ペ ー ス ト
比 重 (25℃)	混 合 物	1.53
粘 度 (25℃)	主 剤	260,000mpa・S
	硬 化 剤	216,000mpa・S
配合比 (重量比)	主/硬	1/1
可 使 時 間	500g, 25℃	20~30分

■物性

J I S 硬 度 D	70	JIS-K 6833
引 張 強 度	8.2	N/mm ²
圧 縮 強 度	26.8 25%変形時	N/mm ²
付着強度モルタル(湿潤)	3.64	N/mm ²

25℃×7日

アルプラEP-15 水系エポキシ樹脂

■一般性状

項 目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	エポキシ樹脂、水	変性ポリアミン、水
外 観	白 色 乳 白 色	淡 黄 乳 白 色
粘 度 (25℃)	40mPa,s	40mPa,s
比 重 (25℃)	1.02	1.00
不 揮 発 文	26%	40%
PH(2%水液)	7	10
配合比 (重量比)	4	1
可 使 時 間	25℃・・・2.5時間(1kgスケール)	
指 触 乾 燥	25℃・・・3時間以上	
硬 化 時 間	25℃・・・24時間以上	

■物性

硬 度 (鉛筆硬度)	H~HB
エクセリン試験	3mmOK
折り曲げ試験	10mmOK
耐水性(清水浸漬)	7日間異常なし
耐アルカリ性	20%水酸化カルシウム液 7日間異常なし
付着強度 (KN)	5.12/建研式

製品一覧

品名	荷姿		色調	用途
	主剤	硬化剤		
アルボンP-800	9kg	9kg	ブルー、グレー、ホワイト	上水、浄水槽、その他受水槽

副資材一覧

品名	荷姿		用途
	主剤	硬化剤	
アルブラEP-15	8Kg	2Kg	水系エポキシプライマー・混和材
アルボンE-700PW	5Kg	5Kg	下地不陸調整（湿潤用）弾性タイプ
アルボンE-700PW・S	5Kg	5Kg	下地不陸調整（湿潤用）速硬性
ガラスクロス	1,040mm (W) × 120m (L)		エポキシライニング補強材
ガラスクロステープ	50mm・75mm・100mm・160mm (W)		エポキシライニング補強材
カーボン繊維	330mm・500mm (W) × 50m (L)		エポキシライニング補強材
アラミド繊維	300mm・500mm (W) × 50m (L)		エポキシライニング補強材

素地調製材

品名	荷姿	配合	用途
無機セメント系粉体	20kg粉体	アルブラEP-15と混練	打ち放しコンクリートの下地調整

※打ち放しコンクリートは、穴があいていたりします。このような状態の時は、本塗装前の下地調整をする必要があります。無機セメント系粉体とアルブラEP-15の混練下地調整材は、24時間(20℃)で硬化しますが、安定強度は48~72時間(20℃)必要とします。

試験項目	アルブラEP-15	無機セメント系粉体
主成分	水系エポキシ	ポルトランドセメント+珪砂
配合比(重量比)	1	2

■物性

	試験方法	試験結果	試験方法
乾燥時	コンクリート	38.0 N/mm ²	建研式
湿潤時	コンクリート	33.0 N/mm ²	建研式

塗布後48~72時間(20℃)

危険物

- アルボンP-800は消防法の規制を受けます。
火気厳禁(第四類第三石油類等級Ⅲ)
- アルボンE-700は対象外。



使用上の注意

1. 取り扱いの際は手袋をするようにしてください。
2. 手にエポキシ樹脂がついていなくとも目の周囲または皮膚の薄い部分などをこすらないように注意してください。
3. 作業終了後は必ず皮膚の露出している部分を重点的に中和石鹼水で洗ってください。

発売元

三石株式会社

アルプス化学産業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目39番地12号
TEL.03-3813-4050 FAX.03-3813-4650
E-mail:sanseki@epoxy.co.jp
<http://www.epoxy.co.jp>

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝4088